

平成 28 年度(4 半期) エコアクション 21 環 境 活 動 レ ポ ー ト

対象期間:2016年9月~2016年12月

作成年月日:2016年1月30日



株式会社 M.T.C

〒635-0076 奈良県大和高田市大字大谷 126 番地 2

TEL: 0745-22-1410

FAX: 0745-22-2495

URL: <http://www.mtc-nara.co.jp/>

目次

事業の概要

工場配置図

認証・登録範囲及び会社組織図

環境方針

過去の実績と環境目標

平成28年度活動計画

平成28年度活動実績（2016年9月～12月）とその評価

環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

代表者による全体評価と見直しの結果

I 組織の概要

(1) 事業所名および代表者名

事業所名：株式会社 M.T.C

代表者名：森 久次

(2) 所在地

(本社工場) 〒635-0076 奈良県大和高田市大字大谷126番地2

敷地面積：859m²

(旧本社) 〒635-0076 奈良県大和高田市大字大谷122番地

敷地面積：(倉庫) 396m² (駐車場) 423m²

(倉庫) 〒635-0076 奈良県大和高田市大字大谷125番地

敷地面積：172m²

(3) 事業の内容 金属製品製造業

(4) 環境管理責任者氏名及び担当者の連絡先

環境管理責任者：前田 智 (工場長)

担当者：仲野 聡 (EA21 環境管理委員会事務局)

[TEL: 0745-22-1410](tel:0745-22-1410) FAX: 0745-22-2495

(5) 工場の規模

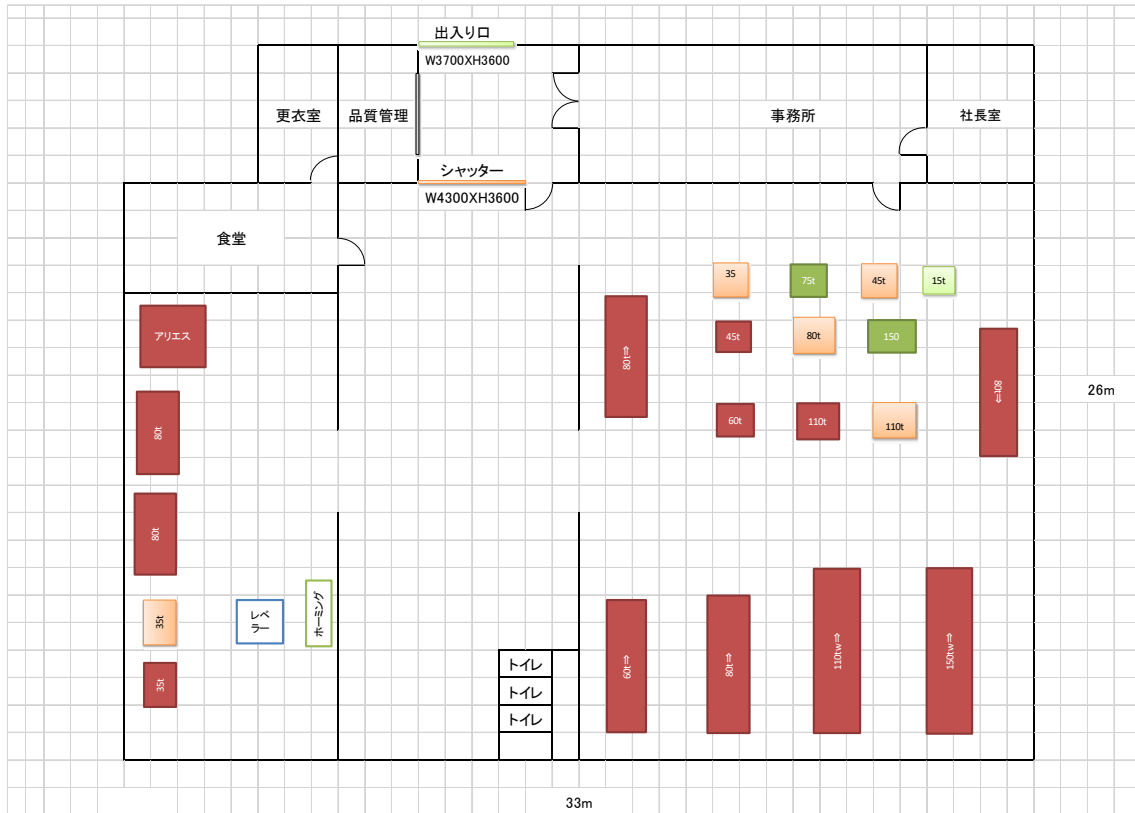
平成27年度(2015年9月～2016年8月) 加工費額：216 百万円

従業員数：25 名 (2016年8月末)

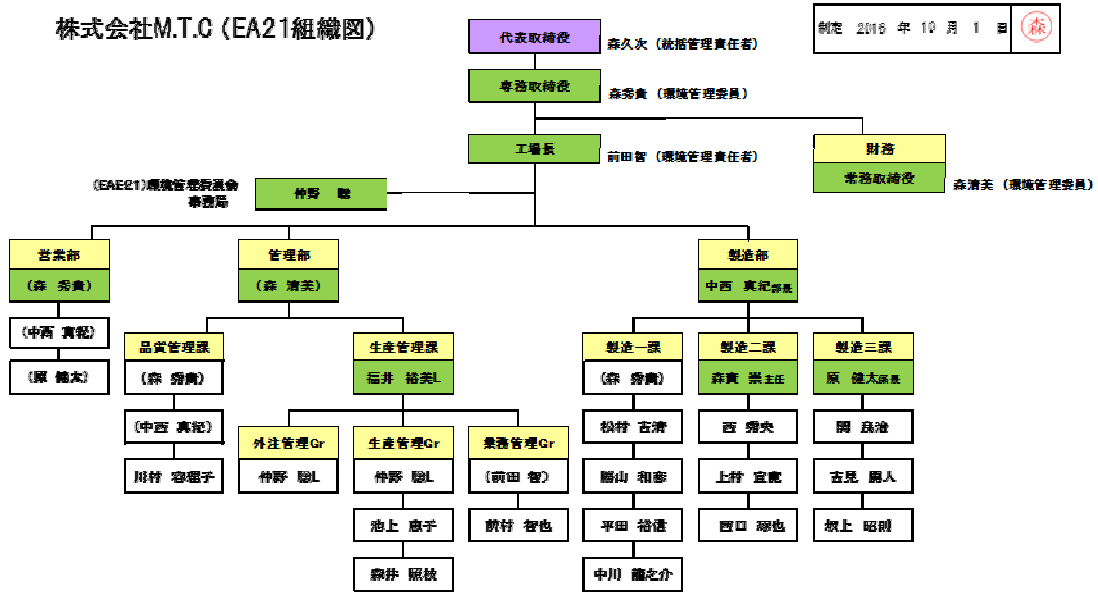
(6) 対象範囲

対象範囲：全事業活動 対象事業所：本社工場、旧本社、倉庫

II 工場配置図



III 組織図



IV 環境方針

基本理念

私達は、ものづくりを通じて環境にやさしい製造業としての ECO活動に取り組む事を目的とします。

◆環境方針

弊社の 基本理念に基づき 金属製品製造業の事業活動を通じ 環境活動を実施し、地球環境における自然破壊の護に努め 社会及び地域に貢献することを目指します。

I.環境目標を定め 社員一丸となった環境活動への参加と継続的改善の推進を行ない 必要に応じて 計画の見直しを行います。

II.環境に関する法規制、条例を遵守し、環境負荷の削減に取り組みます。

III.具体的取り組み内容

- ① 産業廃棄物の削減とリサイクル化の推進
(スクラップ排出量の把握)
- ② 二酸化炭素の排出量の削減
(電力と燃料使用量の把握と削減)
- ③ 化学物質の適正使用及び廃棄時の管理の徹底
(機械油の使用量の把握、廃油の管理)
- ④ 購入物品の環境配慮と適正使用
(コピー紙、手袋等)
- ⑤ 工程短縮に関する提案制度の強化
(単発プレスから順送プレスへの工法変更等)
- ⑥ 工場周辺の環境整備と周辺住民とのコミュニケーション

2016年 9月 1日 制定
株式会社 M.T.C
代表取締役 森 久次

V 環境目標

環境目標は、平成 25 年度～成 27 年度の実績における平均値を基準として設定する。

環境目標は、加工売上高(材料費は除く)に対する原単位を年1～2%削減とする。

加工売上高は、平成 28 年度～平成 30 年度の間は、過去 3 か年の平均値と同じとする。

	平成 25 年 度	平成 26 年度	平成 27 年度	過去 3 か年 平均 (基準)	平成 28 年 度	平成 29 年 度	平成 30 年 度
売上高 (百万円)	206	214	216	212 (100)	212 (100)	212 (100)	212 (100)
電力 (KWh)	175, 651	175, 287	186, 018	(100)	175, 405 (98)	171, 825 (96)	168, 245 (94)
ガソリン (L)	3, 985	4, 670	5, 759	4, 805 (100)	数値の把握		
軽油 (L)	4, 366	4, 231	4, 396	4, 331 (100)	4, 287 (99)	4, 244 (98)	4, 201 (97)
灯油 (L)	1, 656	1, 567	1, 567	1, 597 (100)	数値の把握		
CO2 排出量 (kg-CO2)	89, 045	90, 006	96, 894	91, 982 (100)			
水使用量 (m3)	150	161	167	159 (100)			
鉄くず (t)	—	337. 48	314. 75	326. 11			
クロームくず (t)	—	30. 37	35. 69	33. 03			
ステンレスく ず (t)	—	21. 51	33. 51	27. 51			
加工油購入 量 (L)	—	—	—	—	数値の 把握		
廃油 (L)	年間 約 200 L 発生				数値の 把握		

VI 平成 28 年度活動計画

環境目標 実施事項

No.	目的	目標	実施事項（内容）
1	エネルギー使用量の削減	(1)トラックの燃費削減（燃費前年比 1%削減）	燃費（軽油使用量/走行距離）の把握（基準値の把握） アイドリングストップ、急発進の禁止、タイヤ空気圧の適正化による燃費削減
		(2)電力使用量の削減（前年同月比、売り上げ比 2%削減）	休憩時間、機械の照明をこまめに消し、照明箇所も決める。
2	工程短縮の提案制度の強化	(1)年間提案件数 月間 1件以上	各部署、月末の環境推進委員会会議で発表する。

運用管理（監視・測定）

No.	環境目的	実施事項（内容）
1	電力使用量の把握	毎月の電気使用明細より電力使用量を把握する。
2	トラック燃費の把握	毎日の運転日報より走行距離を把握/毎月のガソリン使用明細より軽油使用量を把握する。
3	水使用量の把握	毎月の上水道使用明細より水道使用量を把握
4	機械油の購入量の把握	機械油の購入伝票により購入量を把握する。
5	廃油引き取り量の把握	廃油処理業者発行の、引取り明細より廃油量を把握する。
6	金属くず引き取り量の把握	毎日のスクラップ(金属くず)の引取り伝票より毎月集計し引き取り量を把握する。
7	月間売上高(材料費除く)	毎月末締日に、集計している表より月間売上高を把握する。

VII 平成28年度活動実績（2016年9月～12月）とその評価

(1) 売上高(単位:千円)

	9月	10月	11月	12月	合計	前年比
平成 27 年	15,959	16,830	21,167	16,545	70,521	100
平成 28 年	18,203	16,897	18,226	14,231	67,557	95.79

(評価)

平成 28 年度 9 月～12 月の売上高は、前年同期間に比べて 95.79%と 4.21%の減収となった。

(2) トラックの燃費削減（燃費前年比 1%削減） 軽油(L)/月

	9月	10月	11月	12月	合計	前年比
平成 27 年	351	369	344	372	1,436	100
平成 28 年	400	393	424	387	1,436	111.7

(評価)

環境活動を平成 28 年 9 月から計画的に実施してきたが、軽油の削減は前年同月比 11.7%増と目標を大幅に達成できなかった。売上原単位では、16.6%の増となった。

(3) 電力使用量の削減 (前年同月比、売り上げ比 2%削減)

	9 月	10 月	11 月	12 月	合計	前年比
平成 27 年	15,360	13,872	14,698	15,572	59,502	100
平成 28 年	14,916	15,586	15,333	15,319	61,154	102.7

(評価)

平成 28 年度 9 月～12 月の電力使用量は、前年同期間比 102.7%と、2.7%増、売上原単位で比較しても 7.2%増となった。

(4) 工程短縮の提案制度の強化 (年間提案件数 月間 1 件以上)

	9 月	10 月	11 月	12 月	合計	目標
平成 28 年	0	0	0	2	2	1 件/月

(評価)

月間 1 件以上の工程短縮の提案目標であったが 4 か月で 2 件であった。

1 件は、順送加工でのコイルの切断と穴あけの 2 工程を金型の変更で 1 工程に短縮し、1 製品当たり 24 秒から 16 秒に短縮した。

1 件は、順送加工で、コイル切断、矯正、曲げ、矯正と 4 工程かかったものを、材料をコイルから切り板に変更することで曲げ工程だけになり、1 製品当たり 36 秒から 12 秒に短縮できた。

今後も工程短縮の提案は、省エネルギーだけでなく生産性向上に寄与するため、引き続き目標の件数を確保できるよう努める。

VIII 環境関連法規への違反・訴訟の有無

環境関連法規に対する違反や訴訟等はありませんでした。外部からの苦情については、平成28年8月に近隣住民から、大和高田市を通じて、騒音に対する苦情があった。その後、防音シートによる対策をとった結果、平成28年9月27日11:00時の大和高田市の騒音測定の結果、58dBとなり基準値以内に抑えることができた。その後、近隣住民よりの苦情は発生していない。

環境関連法規制順守評価表

	法令等の名称	環境側面	条項	規制内容	順守評価
資源 関連	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃油 金属くず	法第2条 (定義)	有用物	—
		事業系一般 廃棄物	法6条の 2第4号	市町村の収集運搬、処理 に協力	○
	資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)	廃油 金属くず	法第4条 の2(事業 者の責 務)	製品の長期間使用、再生 資源の利用及び廃棄物 のリサイクルの促進	○
				自社手順書の順守 (委託契約書、数量管理)	○
	特定家庭用機器再商品 化法(家電リサイクル 法)	冷蔵庫、ユニ ット型エアコ ン、エアコ ン、 洗濯機等	法第6条	① 長期間使用し、廃棄 物を抑制する ② 排出するときは、運搬 する者等に適切に引渡 し、料金の支払いに応じ る	○ 該当 なし
使用済自動車の再資源 化等に関する法律(自 動車リサイクル法)	トラック	法第8条 法第73 条	① 使用済みの自動車を 引き取り業者に引き渡す ② リサイクル費用を資金 管理法人に預託する	○ 該当 なし	
使用済小型電子機器等 の再資源化の促進に関 する法律(小型家電リサ イクル法)ル法	電話、FAX、 携帯電話、 デジタルカメ ラ、PC、 プリンター等	法第7条	使用済小型電子機器等 の収集・運搬又は再資源 化を適正に実施し得る者 に引き渡すよう努めなけ ればならない。	○ 該当 なし	
化学	消防法(危険物)	機械油(危険 物、第4類、	法第6条 令第1条	指定数量の1/5以下とす る	○

物質		第2石油類(2種類)第4石油類(4種類))	11, 12 技術上の 基準細則 第30条	別紙「指定可燃物等の貯蔵及び取扱いの技術上の基準等」の順守	○
公害防止	自動車NOx・PM法	トラック(ディーゼル車)	法第4条	ディーゼル車規制基準合格車を使用	○ 型式 PDG
	騒音規制法	コンプレッサー 2台 金属加工機械 (30トン) 順送プレス 6台 単発プレス 9台	第6条 第8条 第5条	特定施設の設置・変更届 平成28年12月1日変更届 特定施設の数等の変更 規制基準の順守 平成28年9月27日大和高田市測定 58dB)	○ — ○
	振動規制法	コンプレッサー1台 機械プレス 全て	法第6条 法第8条 法第5条	同上	○
条例	大和高田市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例	事業系一般廃棄物	第4条	少量のため一般廃棄物として取り扱っている	適用 外
	奈良県生活環境保全条例	コンプレッサー、ファン (7.5KW以上) 金属加工機械 廃棄物	第42条 第43条 第56条	騒音等規制基準の遵守義務 騒音等発生施設の設置の届出 適正処理	○ ○ ○

順守評価日時:平成28年12月26日

IX 代表者による全体評価と見直しの結果

4か月の取組であったが、目標が達成できていないが、取組みの意識は向上したと思う。エコアクションの取組みは息の長い取組みで、少しずつでも継続的に改善できるよう協力して取り組んでいこう。